

プランクトン調査結果のお知らせ

平成25年7月2日11時から野見湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

大室戸、馬の背周辺で濃い着色が見られました。検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモトイが増殖しており、最高3,220cells/ml確認されました。被害が想定される密度に達しているため、餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

【有害プランクトン(cell/ml)】

	水深	カレニア・ミキモトイ	ディクチオカ・フィユラ	ケラチウム・フルカ
湾奥ブイ	0m	4	0	0
	2m	26	1	0
	5m	18	2	0
	8m	4	0	0
大室戸	0m	3,220	0	0
	2m	2,830	0	1
	5m	86	0	0
	8m	16	0	0
馬の背	0m	3,150	0	1
	2m	1,640	1	3
	5m	370	1	1
	8m	16	1	1
勢井	0m	82	0	2
	2m	46	0	1
	5m	14	3	1
	8m	3	1	0
ガラク	0m	370	2	0
	2m	1,260	4	3
	5m	8	0	0
	8m	3	1	0
白浜	0m	131	1	0
	2m	430	0	1
	5m	4	2	0
	8m	0	0	0



漁業被害が想定される細胞密度

- カレニア・ミキモトイ：
数百～数千cells/ml(へい死)
- ディクチオカ・フィユラ：
赤潮発生時(へい死)
- ケラチウム・フルカ：
100cells/ml(餌食いの悪化)